

慈明院寺報十月号

大根と聖天さん



毎年十一月三日は、聖天さん（歓喜天）断ち物祈願法会の日である。参拝者の皆さんに断ち物（断食する食べ物）を紙に書いて頂き、自分で決めた期間（最短三日間、最長一年間）断ち物を聖天さんにお供えするのである。

十一月の聖天断ち物祈願法会では、象の頭の仏様・聖天さんに大根をお供えする。大根は聖天さんのシンボルであり、「大根おろしに医者いらす」という言葉があるように、消化を助ける働きを持ち、心身の毒を消し去り、煩惱の毒を除く妙薬として聖天さんの功德を表す。聖天さんと大根はとても縁が深く、インドのヒンドゥー教の神・ガネーシャ（聖天さんのモデルになった神様）は、他の神様との争いで牙が一本欠けてしまった。その牙に似せた大根をお供えすると伝えられている。



この聖天さんという神仏は、双身仏という二体の仏様が抱き合っているお姿をしている。

インドのヒンドゥー教の神・ガネーシャは、とても乱暴な神様であった。その行いを戒めるために、十一面観音菩薩が姿を変えて女天のガネーシャとなって、暴れているガネーシャを抱きしめて行いを諫めた。それ以来、観音様の慈悲に感動したガネーシャは、仏教を守る護法神となり、仏教でも信仰されるようになったのである。聖天さんが双身仏となった由来である。聖天さんのご利益は、夫婦和合や子宝成就、商売繁盛厄除開運など「七代の福を一代で取る」と伝えられる程、強い力で人々の願いをかなえてくれるという。今年最後の厄落としに大根ひとついかがです。

住職 合掌

塔婆供養成満の御礼

去る九月二十三日（秋分の日）、当院本堂におきまして塔婆供養をお勤めさせて頂きました。塔婆の申し込みを頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。またご参拝頂きました皆様、誠にありがとうございました。

ご供養させて頂いた塔婆は、納骨堂横の『供養堂』で来年のお施餓鬼まで約一年間、安置奉納致します。ご来寺の際はお参り下さい。



聖天様断ち物祈願法会のご案内

来る令和七年十一月三日（月曜日）文化の日 午前十一時より『聖天堂』（丸い円形の御堂）に鎮座している大聖歓喜天（通称・聖天さん）をお祀りする法会です。（昼食と聖天様の好物・大根をお接待致します）



開山五十周年記念・営繕事業 勸募成満の御礼

令和七年九月末日まで、記念営繕事業のご寄付を檀信徒の皆様にお願ひしておりました。お陰様で勸募目標金額を集めさせて頂く事ができました。紙面を借りて、ご協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。現在、大師堂の営繕工事を進めています。ご寄付頂きました皆様には、十一月頃に改めて御礼と返礼品をお届けしたいと思っております。

住職 九拝

慈明院

〒八一一一三三福岡市早良区大字西二三四一（二〇）

TEL（〇九二）八〇四一四五七〇 FAX（〇九二）八〇四一四六〇五

住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇・（五二八一）・七四九四